

特集

鎌倉幕府の隠れた
ターニングポイント
—中央大学図書館所蔵の古文書から—



(左上) 鶴岡八幡宮 (中央下) 鎌倉大仏(高德院蔵)
(右下) 蒙古襲来合戦絵巻(国立国会図書館蔵、部分)
(右上、左下) 『新編鎌倉志』一、五(中央大学図書館蔵、部分)

CONTENTS

- 特集 鎌倉幕府の隠れたターニングポイント —中央大学図書館所蔵の古文書から—
文学部教授 西川 広平
- 日・EU フレンドシップウィーク企画展「ヨーロッパ現代文芸展」を開催
- 学部長、オスメの一冊
- 第3回学生選書ツアーを LibrariE/ 紀伊国屋書店で開催しました
- ワークショップ「ほんのまくら」を開催しました
- 新しく自動貸出機が設置されました
- 新取資料紹介 中央大学教職員著作目録・資料目録(2021.7~2021.9 収集分)

はじめに

歴史を振り返ると、時代が動いた大事件や、当時の社会を代表する人物の活動に目が留まる。しかしながら、視点を変えると、一見ささやかな出来事が、時代の変化をもたらす引き金となることもある。歴史を学ぶことの楽しみの一つは、古文書等の史料を踏まえつつ、今まで知られていなかった新たな歴史の見方を発見することにあるだろう。

ところで、中央大学図書館には、多くの図書や雑誌とともに古文書が所蔵されている。このうち、14世紀初頭、鎌倉時代の美濃国にあった茜部荘（現在の岐阜市周辺）の年貢をめぐる争いに関連した古文書を通して、鎌倉幕府の歴史が動いた、知られざるターニングポイントに注目してみよう。

1 古文書を読み解く

今回取り上げる古文書は、正安2年（1300）12月12日付の「六波羅御教書案」。六波羅とは、朝廷との交渉・監視や京都の警固を行うとともに、西日本の支配を統轄するため、鎌倉幕府が京都に配置した六波羅探題を指す。探題は南北に分かれ、幕府の要職を占めた北条一族から2名着任することが慣例であった。また御教書は、公卿と呼ばれる地位の高い貴族や幕府の将軍（鎌倉殿）の意向（形式的な場合もある）を、家臣（ここでは探題）が相手に伝える際に用いられた。案とは古文書の写である。まずは内容を紹介しよう（図1）。

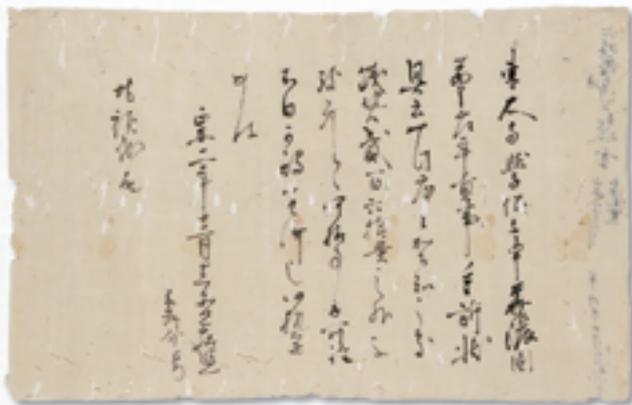


図1 「六波羅御教書案」（中央大学図書館蔵「東大寺及徳政文書」）

（読み下し）

東大寺学侶等申す美濃国茜部庄年貢の事、重訴状・具書かくの如し、度々下知を加うるのところ、錢貨貳百六拾貫のほか弁え致さずと云々、何様の事が、所詮不日究済せらるべきなり、よつて執達くだんの如し、

正安二年十二月十二日

右近将監

前上野介 在判

地頭代殿

（現代語訳）

東大寺の僧侶らが訴え出た美濃国茜部荘の年貢について、二度目の訴状と関連文書はこの通りである。これまでに度々指示をしてきたにもかかわらず、錢貨260貫文以外を納めなかったと記されている。どのような状況であるのか。至急確認して対応しなさい。伝達する内容は以上のとおりである。

本文書の差出人は六波羅北方探題の北条宗方（右近将監）と南方探題の北条宗宣（前上野介）、宛所は茜部荘の地頭代である。宗方と宗宣は、年貢のうち錢260貫文以外が未納であるという茜部荘の荘園領主東大寺の訴えを受けて、至急納めるよう地頭代に求めた。

当時、茜部荘の地頭は、幕府創設の重臣であった大江広元の子孫である長井氏に受け継がれていた。長井氏は、鎌倉と六波羅の最高評議機関である評定衆を輩出する有力な御家人（将軍の家臣）であり、広元の子時広が茜部荘の地頭となった後、時広の子で六波羅評定衆を務めた泰茂を経て、孫の静瑜へと受け継がれた。泰茂・静瑜は京都に住み、茜部荘の現地支配は、代官である地頭代が担っていた。

一方、東大寺は、年貢の収納を地頭に委ねていたが、永仁4年（1296）6月、東大寺と地頭代との間で年貢の品目と収納時期をめぐる訴訟となり、永仁6年（1298）6月、幕府は両者に和解を促した（東大寺文書）。

ところが、同年7、8月に発生した洪水や大風による被害を理由に、地頭代は年貢の減免を求めてきた。東大寺はこれを拒否したが、地頭代は年貢の一部を既に納めたので、不足分を免除するよう訴えた（同）。

この結果、正安2年（1300）6月、宗方と宗宣は自然災害により年貢を免除することを認める一方、永仁6年分の年貢を完済するよう判決を下した。そして、判決内容が守られるよう、本文書と同日・同内容の古文書を地頭宛にも作成した（同）。

このように、宗方と宗宣は、茜部荘の年貢をめぐる訴訟に際して、地頭長井氏と地頭代、荘園領主の東大寺との間に立ち対応していた。嘉暦元年（1326）7月に出された東大寺の申状（同）には「地頭が年貢の一部を納めると約束して和解した」と記されていることから、この争いは関係者がそれぞれ譲歩して一先ず解決したと考えられる。

2 古文書に見る鎌倉幕府の政治史

続いて、本文書の差出人である北条宗方と北条宗宣に注目してみよう（図2）。宗方は、八代執権の北条時宗の弟宗頼と太友頼泰の娘との間に生まれ、永仁5年（1297）6月23日、六波羅北方探題に20歳で着任した（『鎌倉年代記』）。一方、北

宗義時の弟時房に始まる大仏流北条氏の宗宣は、評定衆等の役職を経て、同年7月10日に六波羅南方探題に39歳で着任した(同)。

このように、鎌倉幕府における事実上の最高権力者であった北条氏の惣領(得宗と呼ばれた)を囲む得宗家の一員である宗方と、要職を歴任して経験豊かな宗宣は、就任早々の

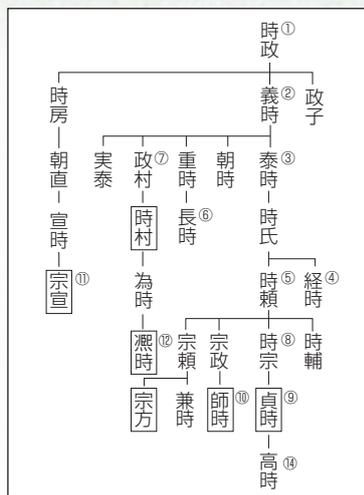


図2 北条氏略系図
(枠を付した人名は本稿の登場人物、数字は執権の就任順)

同年7月22日、永仁の徳政令への対応を九代執権で得宗の北条貞時(宗方の従兄弟)と、執権を支える連署の北条宣時(宗宣の父)から命じられた(東寺百合文書)。彼らは徳政令を西日本に施行するため探題に任命されたと考えられており(森2021)、朝廷と幕府間の重要な政治案件に共同で対応した。また、彼らは前任者と異なり裁判の判決権を得ており、幕府首脳分身と考えられている(熊谷2014)。

ところで、六波羅探題の古文書には、原則として南北両名の署名と花押(サイン)があり、宗方・宗宣も同様の古文書を作成していた。しかしながら、本文書には宗方の花押が無く、宗宣のみ「在判」と記され、花押があったことになる。

この間の消息をたどると、宗方は同年11月15日に京都から鎌倉に戻り、12月28日に評定衆に着任し、翌年正月20日には四番引付頭人を兼任した(『鎌倉年代記』)。したがって、本文書が作成された際、宗方は既に京都にいなかったものの、この時点では探題の離任が決定しておらず、やむを得ず宗方の署名のみを右筆(書記)が記した上で、花押の無いまま発行したと考えられる。同様の古文書は、これ以外に先述した地頭宛の古文書一通しか無く、その後は正安4年(1302)正月11日まで、宗宣単独で発行された。

鎌倉復帰後の宗方の足跡を追うと、正安3年(1301)8月22日、貞時・宗方の従兄弟かつ貞時の娘婿であった北条師時が10代執権に着任した同日、宗方は引付頭人から外れ(翌年9月11日に復帰)、8月25日には越訴頭人、嘉元2年(1304)12月7日には得宗の家臣(御内人)を統率する内管領が着任する慣例であった侍所所司に転じた。そして、嘉元3年(1305)5月4日、宗方は鎌倉の「相州館」(師時の屋敷)において享年28歳で誅殺された(同)。

鎌倉が大地震に襲われた混乱の最中に発生した「嘉元の乱」と呼ばれるこの事件は、内管領の立場であった宗方が連署の北条時村(師時の母方の伯父)を(幕府の最高権力者である貞時の)「仰せ」と称して同年4月23日に討ったことに始まる。ところが5月2日には、宗方の指示で合戦に参加した武士たちが処刑され、宗方の罪も問われた。この時に宗方を討つ

よう貞時に命じられたのが、宗宣と宇都宮貞綱であった(図3、『保暦間記』)。宗宣は、乾元元年(1302)2月18日に一番引付頭人として鎌倉に戻り、その後は官途奉行や越訴奉行に着任していたのである(『鎌倉年代記』)。

嘉元の乱の原因については、宗方が執権の師時と北条熙時(時村の孫で貞時の娘婿、後に12代執権)の排除を狙ったことが定説とされている(『保暦間記』)。この一方、貞時が得宗家による専制体制を確立するため、宗方に命じて北条庶流の最長老である時村を討ったが、反発の高まりを受けて責任回避を図り、宗方を切り捨てたとする説(細川2000)や、時村と宗方はともに、貞時を中心とした得宗の政権を支える支柱的存在であったものの、主導権を争い宗方が時村を討ったとする説(高橋2016)がある(図4)。いずれにしても、宗方は権謀渦巻く鎌倉の政治の流れに呑み込まれ、落命した。

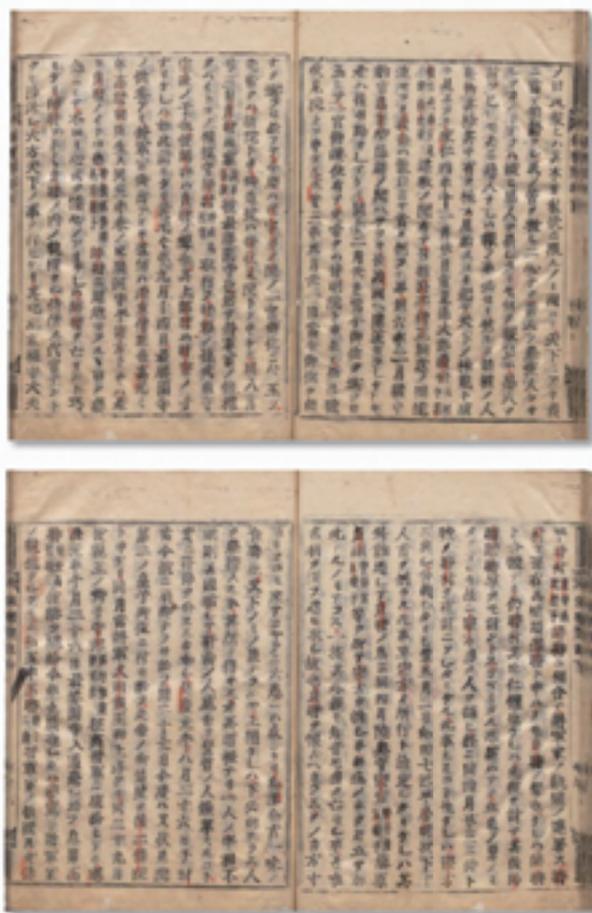
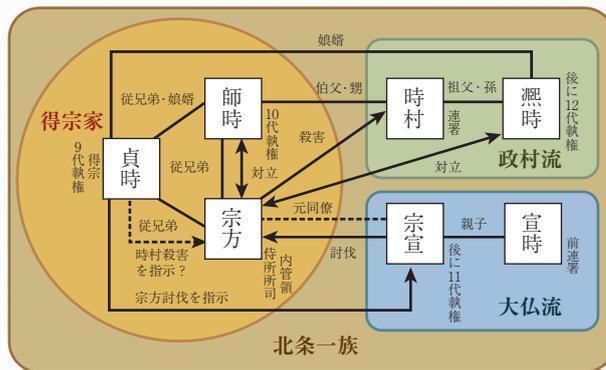


図3 『保暦間記』(国立公文書館内閣文庫)



ところで嘉元の乱から約二か月後の嘉元3年7月22日、宗宣は連署となり、応長元年(1311)10月3日には11代執権に着任した。そして、翌年の6月12日に享年54歳で死去した(『鎌倉年代記』)。

宗宣の台頭は、北条一族の庶流が勢力を増して得宗家を牽制することになった。一方、乱後の貞時は、幕府の会議に出席せず連日酒宴を繰り返し、政務への意欲を失ったという(細川2000)。また、宗方の母方の祖父大友頼泰の一族が処分され(表紙の人物は頼泰配下の武士)、宗方を後見した有力な御内人であった京都五条の安東蓮聖あんどうれんしょうの一族は、嘉元の乱後に後醍醐天皇ごだいごに接近した(筧2001)。宗方の死は、後醍醐天皇による倒幕への道を加速することにも影響したのである(図5)。



図5 『新編鎌倉志』七(中央大学図書館蔵)に描かれた宝戒寺

宝戒寺は、鎌倉幕府滅亡後、北条高時一族の供養のため後醍醐天皇・足利尊氏により北条得宗家の屋敷跡に建立された寺院。境内には「徳宗権現」が祀られ、画面の右上には北条氏の菩提寺であった東勝寺跡がある。得宗家の別邸が置かれた山ノ内(鎌倉市)と並んで、この地が幕府の政治の中心地であった。

■おわりに

本文書には、北条宗方の運命を変えた鎌倉復帰の痕跡が残されている。宗方の鎌倉復帰は、鎌倉幕府の政治体制に大きな影響を及ぼした。すなわち、六波羅探題在任中の宗方・宗宣は、北条一族を代表し、共同で朝廷と幕府間の重要案件に対応したが、宗方の鎌倉復帰は両者の運命を分け、北条一族内の対立を引き起こす原因となった。さらに、宗方の離任以降、得宗家からの探題着任は途絶え、得宗家と朝廷との直接的な交渉ルートが消滅した。

こうした視点に立つと、本文書は、まさに鎌倉幕府が滅亡へと向かう、隠れたターニングポイントを示していると言っても過言ではない。時代の変化は、時にささやかな出来事がきっかけとなって動き出す。このことを古文書は今に伝えているのではないだろうか。

【参考文献】

- 筧 雅博『蒙古襲来と徳政令』(講談社、2001年)
- 鎌原 恒 他「中央大学図書館所蔵古文書(中・近世文書の二)」『中央史学』20、1997年
- 熊谷隆之『モンゴル来襲と鎌倉幕府』『岩波講座日本歴史』7中世2(岩波書店、2014年)
- 高橋慎一郎『日本中世の権力と寺院』(吉川弘文館、2016年)
- 細川重男『鎌倉政権得宗専制論』(吉川弘文館、2000年)
- 森 幸夫『六波羅探題一京を治めた北条一門一』(吉川弘文館、2021年)



日・EU フレンドシップウィーク企画展 「ヨーロッパ現代文芸展」を開催

2021年11月15日(月)から11月27日(土)まで、中央図書館では、国際機関資料室(EU情報センター)が「ヨーロッパ現代文芸展」を実施しました。日本とEUの文化交流を目的とする日・EUフレンドシップウィーク企画展(駐日欧州連合代表部主催)の一環です。新型コロナウイルス感染症の蔓延のため、フレンドシップウィーク展は2年ぶりの開催となりました。

この展示では、私たちと同時代に創作された作品の普及を目的に、広く読まれている古典ではなく、現代のすぐれたヨーロッパ文芸作品26点を紹介しました。そして、文学を通して現代社会の諸相を読み解けるように、作品をテーマごとに分けて紹介しました。そのテーマは、「境界を越える〜クロスボーダーの作家〜」、「日本に住む・日本を書く」、「日常の終焉〜新型コロナの影響〜」など7つからなります。本学文学部教授ミカエル・フェリエ先生のコーナーも設置し、著作『フクシマ・ノート』・『Over seas of memory : a novel』を展示しました。

展示会場では、イタリア文化会館・アンステイチュ・フランセ東京からこの展示のために提供を受けた関連冊子なども設置し、見学者が自由に持ち帰れるようにしました。

期間中は、アンケートに答えてEU公式グッズを配布する企画も行い、見学者はエコバッグやトランプ・付箋などを選んでいました。アンケートには、「今後現代ヨーロッパ文芸を読みたい」との回答も多く、現代文芸を紹介する機会となりました。



学部長、オススの一冊

学生のみなさんへお薦めしたい図書を一冊選んでいただきました。中央図書館、理工学部分館、国際情報学部図書室で展示します。※上記館室に未所蔵の図書については、4月以降順次受入予定です。

法学部長 猪股 孝史 教授

『福沢諭吉の「学問のすゝめ」』

橋本治著 幻冬舎 2016年



あまりにも著名な福沢諭吉の「学問のすゝめ」ですが、その読み解きかたを指南するのが本書です。明治期の文章であることもあり、読めば解るだろうというほど実は容易ではありません。当時の時代背景や言葉の意味など、橋本治の博学ぶりを随所にちりばめながら、「学問」をすることの意味を明らかにしています。お薦めです。

所蔵 開架 002/H38、理開 002/H38、iTLL 002/H38



経済学部長 佐藤 拓也 教授

『昭和の歴史 第2巻 昭和の恐慌』

中村政則著 小学館 1982年



高校生の時、「金解禁」「金輸出再禁止」といった難解な単語をどうにか理解しようと、偶然手に取りました。専門家による確かな歴史概説の域を超えて、政治と経済、外交や軍事をめぐる、登場人物たちの心情にまで踏み込んだ生き生きとした歴史ドラマが、小説のように展開されていることが、推薦の理由です。

所蔵 開架 210.7/Sh97、中央書庫 210.7/Sh97、理開 210.7/Sh97



商学部長 井上 義朗 教授

『読書と社会科学』

内田義彦著 岩波書店(岩波新書) 1985年



「勉強」という言葉があります。「数学を勉強する」とも言いますが「1万円の品物を勉強させていただいて8千円で売ります」とも言います。この2つの「勉強」は実は同じ意味なのです。その理由を知ったとき、私たちの世界は一回り大きくなります。読書とは世界を広げること。この本を読むとそのことがよくわかります。

所蔵 開架新書 岩波新書 / 黄 -288、中央書庫 019/U14



理工学部長 梅田 和昇 教授

『生物から見た世界』

ユクスキョウ・クリサート著 / 日高敏隆、羽田節子訳 岩波書店(岩波文庫) 2005年



ご存知のように、我々は視覚を初めとする五感で外界を知覚しています。しかしながら、その知覚は極めて主観的なものであり、他の生物(例えばダニ!)が知覚している世界は全く違っているということ、豊富な例で考えさせてくれる本です。1930年代に書かれた古い本ですが、我々の世界観を相対化してくれる名著です。

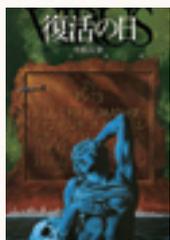
所蔵 開架文庫 岩波文庫 / 青 -943-1、中央小型 481.78/U49、理開小型 岩波文庫 / 青 -943-1、iTLL 岩波文庫 / 青 -943-1



文学部長 新原 道信 教授

『復活の日(新版)』

小松左京著 早川書房 2018年



ウイルスによってもろくも崩壊する現代社会とそこでの光明を描いた本書(1964年初版)は「新型コロナウイルス」下で生きる私たちの道標となります。小松は「さまざまな幻想がはぎとられ、断崖の端に立つ自分の真の姿を発見することができた時、人間は結局「理知的に」ふるまうことをおぼえるはずだ」という希望を本書にこめています。

所蔵 開架 913.6/Ko61



総合政策学部長 青木 英孝 教授

『データ分析の力-因果関係に迫る思考法-』

伊藤公一朗著 光文社(光文社新書) 2017年



ビジネスの世界では、需要予測やマーケティングなどにビッグデータが活用されています。また、証拠に基づく政策立案(Evidence Based Policy Making)と呼ばれるように、実は政策の効果もデータによって検証されています。本書は、因果関係に焦点を当て、分析の基本的な考え方を、数式を使わず分かりやすく解説している良書です。

所蔵 開架 417.5/189、理開小型・理開指定 417/189、iTLL 417.5/189



国際経営学部長 中迫 俊逸 教授

『多文化世界-違いを学び未来への道を探る-』

G・ホフステード、G・J・ホフステード、M・ミンコフ著 / 岩井八郎、岩井紀子訳 有斐閣 2013年



グローバル社会の人間と組織、文化の違いによるビジネスへの影響等を、文化を各種の次元から考察し、文化の多様性を理解するためのモデルおよび枠組みが提示され、相対的な判断を行うための手助けになるように書かれている著書です。グローバルな人材を目指している方々にはぜひ読んでいただきたい名著です。

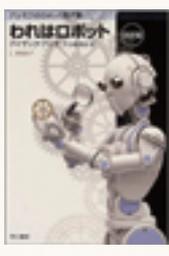
所蔵 開架 361.6/H81、社会情報 361.6/H81、BS 361.6/H81



国際情報学部長 平野 晋 教授

『われはロボット(決定版)』

アイザック・アシモフ著 / 小尾英佐訳 早川書房(ハヤカワ文庫 SF) 2004年



映画「アイ、ロボット」の原典。収録短編「うそつき」が特にお薦め。職場の人達から個別に悩みを打ち明けられたロボットが、全員に対して嘘(うそ)を吐(つ)かざるを得なくなり追い詰められる。「ロボットは人に危害を加えてはならない」という「ロボット工学第一原則」ゆえに嘘を吐いたのだが...是非読んで頂きたい一冊です。

※映画「アイ、ロボット」は映像言語メディアラボ(多摩キャンパス2号館1階)で利用できます。

所蔵 開架 933/A92、理開小型 933/A92、iTLL 933/A92



所蔵場所について
多摩キャンパス 開架・開架新書・開架文庫：中央図書館4階、中央書庫・中央小型：中央図書館書庫、社会情報：3号館4階社会情報学研究室
後楽園キャンパス 理開・理開小型・理開指定：理工学部分館5階、BS：ビジネススクール図書室
市ヶ谷田町キャンパス iTLL：国際情報学部図書室
※各館室で利用対象・方法が異なります。詳細は図書館HPでご確認ください。

第3回

学生選書ツアー



LibrariE/紀伊国屋書店で開催しました!

2021年10月21日(木)~29日(金)にLibrariEで、10月26日(火)・27日(水)に紀伊国屋書店新宿本店にて、学生選書ツアーを実施しました。今年度も昨年度に引き続き、電子書籍をオンラインで選書する選書ツアーと、書店に実際に行って選書する選書ツアーの2本立てで行いました。LibrariEでの選書ツアーには9名、紀伊国屋書店での選書ツアーには13名の学生が参加し、思い思いの本を選書してくれました!

選書後には、11月4日(木)に紀伊国屋書店のPOP作成のプロを講師にお招きし、POP(紹介文)を作成するワークショップを行いました。みなさん、初めてとは思えないような個性あふれる素敵なPOPを作成してくれました!!出来上がったPOPは展示をし、投票も行いました♪



LibrariE 展示

書店選書展示



紀伊国屋書店新宿本店でも2/1~2/21に書店選書ツアーで選んだ本を展示してもらいました♪♪



POP投票結果

LibrariE

書店

1

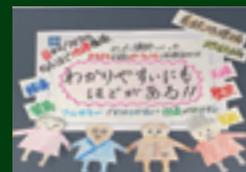
1

3

2

3

2



ワークショップ

「ほんのまくら」を開催しました！！

2021年12月9日(木)に、紀伊國屋書店ご協力のもと、「ほんのまくら」ワークショップを中央図書館4階プレゼンホールで開催しました！

「ほんのまくら」とは、2012年に紀伊國屋書店新宿本店のフェアで初めて実施されたイベントで、本の書き出し(まくら)のみを見せて書籍を並べ、お客様にまくらから本を選んで手に取ってもらおうという企画です。



今回は中大バージョンとして、書き出しだけでなく、書籍全体から1文を抜き出すこととしました。

参加してくれた14名の学生には、あらかじめ中央図書館の蔵書から「心に響く」、「友達に紹介したい」といった図書をピックアップしてきてもらい、当日は各々が持参した図書から1文を厳選するとともに、「なぜこの1文、書籍を選んだのか？」をコメントシートに書いてもらいました。

参加した感想

- ・本の中身を分からなくして、一文で興味を惹かせる、のぞいてみたくなるようにさせる仕掛けが面白い工夫だと思った。(文学部3年)
- ・本の一文を紹介するのがとても新鮮で面白く感じました。(商学部4年)

イベント後には、中身が見えないようにラッピングした図書に選ばれた1文を貼り、コメントシートとともに中央図書館4階に展示を行いました。

本や1文のチョイス、コメントのおすすめポイントなど、どれも学生のオリジナリティに溢れており、展示開始直後より多くの方にご覧いただいています！



新しく自動貸出機が設置されました！

2021年12月より中央図書館2階カウンター横に自動貸出機が設置されました。自動貸出機では、「貸出」と「延長」をすることができます。ぜひご利用ください！

※お手続きの際は、図書館利用証(学生証・CHOISカードなど)と手続きしたい資料が必要です。
 ※自動貸出機で手続きできるのは中央図書館の開架の資料のみです。
 ※「返却」のお手続きはできません。



自動貸出機

2Fカウンター

使い方は簡単♪



「貸出」が「延長」をタッチ



図書館利用証を
カード入口に置く



資料を置いて[終了]を
押したら完了♪

新収資料紹介

教職員著作目録 2021.7-2021.9 配架図書一覧 ()は所属学部等

著者名	書名	出版社	出版年月	配置場所	請求記号
阿部 幸信(文)	中国史で読み解く故事成語	山川出版社	2021.4	開架/東洋史	824/A12
飯尾 淳(国情)	Webアプリケーション開発の教科書: 最短距離でしっかり身に付く!: Ruby on Railsで作る本格Webアプリ	技術評論社	2021.4	開架	547.8/I27
飯尾 淳(国情)	世界一やさしい統計学の教科書1年生: 再入門にも最適!	ソーテック社	2021.6	開架/理開	417.5/I27
龍 連科, 飯塚 容(文)	心経	河出書房新社	2021.7	開架/中国言語	923/E56
生稲 史彦(戦略), 高井 文子	コア・テキスト経営情報論(ライブラリ経営学コア・テキスト15)	新世社	2021.6	開架	336.1/I38
柳 憲一郎, 大塚 直 石野 耕也(法務)ほか	持続可能性環境法への誘い: 浅野直人先生喜寿記念(環境法研究 別冊)	信山社	2020.11	中央書庫/ 市ヶ谷法務	519.5/Y52
石山 文彦(法), 山本 藍之	ウォーミングアップ法学: Warming up for legal studies 第2版	ナカニシヤ出版	2021.3	中央書庫/開架	321/I83
及川 淳子(文) 劉 燕子, 及川 淳子(文)	11封信: 關於劉曉波的空情書簡	新鋭文創	2020.7	中央書庫/中国言語	289/R98/O32
岡嶋 裕史(国情)	デジタル/コミュニケーション(中央大学政策文化総合研究所研究叢書 28)	中央大学出版部	2021.1	中央書庫/開架	302.1/C66
岡嶋 裕史(国情)	いまこそスマホ(NHK テキスト NHK趣味どきっ!)	NHK出版	2021.6	開架/国際情報	694.6/O39
岡嶋 裕史(国情)	インターネットというリアル	ミネルヴァ書房	2021.5	開架/国際情報	547.8/O39 007.3/O39
岡嶋 裕史(国情), 吉田 雅裕	はじめてのAIリテラシー: 基礎テキスト	技術評論社	2021.7	中央書庫/開架	417.5/O39
ツヴェタン・トドロフ 小野 潮(文)	善のほかなさ: ブルガリアにおけるユダヤ人救出	新評論	2021.7	開架	239.4/To18
河西良治教授退職記念論文集刊行会 河西 良治(文), 若林 茂則(文), 新井 洋一(経)ほか	言語研究の扉を開く	開拓社	2021.2	中央書庫/開架	804/G34
唐橋 文(文), Luis Feliu, Gonzalo Rubio	The first ninety years: a Sumerian celebration in honor of Miguel Civil	De Gruyter	2017	西洋史	935/F52
葉 広孝, 葉山 千賀子(法)	胡同旧事: 葉広孝短篇小説集	中国書店	2021.4	開架/中国言語	923/Sh95
酒井 克彦(法務), 池本 征男	裁判例からみる相続税法 4訂版	大蔵財務協会	2021.2	開架/市ヶ谷法務	345.5/I33
佐々木 信夫(名)	いまこそ読東京!: 高速交通網フリーパス化と州構想	平凡社	2021.5	開架	平凡社新書/973
滝田 賢治(名), 大芝 亮	国際関係学: 地球社会を理解するために 第3版	有信堂高文社	2021.3	中央書庫/開架	319/Ta73
田口 善弘(理)	はじめての機械学習: 中学数学でわかるAIのエッセンス	講談社	2021.7	開架/理開	ブルーバックス/ B-2177
都筑 学(文)	他者を支援する人はいかに成長するのか: 心理臨床・福祉・障害・教育・保育の現場で働く支援者の軌跡	ナカニシヤ出版	2021.3	開架	146.8/Ts99
遠山 慶(名), 村田 潔	現代経営情報論(有斐閣アルマ Specialized)	有斐閣	2021.5	開架/国際情報	336.17/To79
中坂 恵美子(文), 横藤田 誠	人権入門: 憲法/人権/マイノリティ 第4版	法律文化社	2021.4	中央書庫/開架	316.1/Y74
中村 昇(文)	ウィトゲンシュタイン「哲学探究」入門 続	教育評論社	2021.6	開架/哲学	134.8/W79/ N37
中村 昇(文)	ウィトゲンシュタイン、最初的一步 = The first step with Wittgenstein	垂紀書房	2021.9	開架/哲学	134.8/W79/ N37
山梨日日新聞社 西川 広平(文)ほか	武田信玄入門	山梨日日新聞社	2021.7	開架	289/Ta59/ Y35
野村 修也(法務), 奥山 健志	令和元年改正会社法: 改正の経緯とポイント	有斐閣	2021.2	中央書庫/開架	325.2/N95
松浦 司(経), 寺村 絵里子, 萩原 里紗ほか	日本・台湾の高度女性: 極少子化と仕事・家族の比較	晃洋書房	2021.1	中央書庫	367.21/Te54
丸山 秀平(名)	やさしい会社法 第14版	法学書院	2021.5	開架/市ヶ谷法務	325.2/Ma59
宮崎 純一(文) 小林 謙一(文), 小山 憲司(文)	多摩地域の委容と地域資料の保存・活用: 地域持続のために: 記録集(中央大学大学院文学研究科・中央大学政策文化総合研究所共催シンポジウム)	中央大学大学院 文学研究科	2021.3	日本史/社会情報	014.72/M17
宮本 太郎(法)	貧困・介護・育児の政治: ベーシックアセットの福祉国家へ(朝日選書 1019)	朝日新聞出版	2021.4	中央書庫/開架	364/M177
山口 真美(文) ミスミ ヨシコ	かおかおばあ: あかちゃん研究からうまれた絵本	KADOKAWA	2019.11	開架	909/Y24
横井 芳弘(名) 浜村 彰, 石井 保雄	労働法の基礎理論(横井芳弘著作選集 第1巻)	信山社	2021.3	中央書庫/開架	366.14/Y76
横井 芳弘(名) 近藤 昭雄(名), 山田 省三(名)	集団的労使関係法(横井芳弘著作選集 第2巻)	信山社	2021.3	中央書庫/開架	366.14/Y76
横井 芳弘(名), 岡田 邦重(名), 毛塚 勝利	個別的労使関係法とドイツ労働法研究、そして人と学問(横井芳弘著作選集 第3巻)	信山社	2021.3	中央書庫/開架	366.14/Y76

* (法): 法学部、(経): 経済学部、(商): 商学部、(理): 理工学部、(文): 文学部、(総): 総合政策学部、(国経): 国際経営学部、(国情): 国際情報学部、(法務): 法務研究科、(戦略): 戦略経営研究科、(研): 研究開発機構教授、(名): 名誉教授、(編): 職員
 * スペースの都合上、配置場所は2ヶ所まで表記している。

